

2023 年 会計年度 事業報告  
(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日)

当財団は、本年度で設立 10 周年を迎え、これまでに延べ 328 名の大学等の研究機関に従事する環境技術分野における研究者の方々に対し、総額、約 260 百万円の寄附を行なってきました。

その中、助成事業におきましては、全国の大学及び高等専門学校に募集案内を送るなどして、PR 活動を継続してまいりました。その結果、本年度は 40 の大学等研究機関から、81 件(前年比 3%増)の応募があり、研究開発・調査助成では、34 件の 34,000 千円、国際会議・研究発表会等の参加及びシンポジウム等の開催への助成については、8 件の 1,600 千円の寄附を行いました。

その中、本年度の 5 月より、新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同類の 5 類に移行されたことにより、4 年ぶりに 6 月の理事会、評議員会を開催することができ、3 月には 5 年ぶりとなる贈呈式を開催いたしました。

一方、本年度は、昨今の物価高の影響等により、ホテル代等の高騰、また、財団の会計システムをクラウド化へ変更したことにより、経費増となり、そのため、経常費用は、前年比 19% 増となりました。

なお、当期の公益会計目的事業会計においては、経常収益 37,381 千円の経常費用は、38,527 千円となり、一般正味財産増減額は、△1,145 千円となりました。

また、法人会計においては、経常収益 2,400 千円の経常費用は、5,363 千円となり、一般正味財産増減額は、△2,963 千円となりました。その結果、両会計合わせて一般正味財産増減額は、△4,108 千円となり、一般正味財産期末残高は、△584 千円(前年 3,524 千円)となりました。

助成実績

(単位：円)

助成項目	2022 年度		2023 年度	
	件数	金額	件数	金額
研究開発・調査助成	31	31,000,000	34	34,000,000
国際会議・研究発表会等の参加及びシンポジウム等の開催への助成	8	1,423,815	8	1,600,000
合 計	39	32,423,815	42	35,600,000

※実績の詳細については、P2. P3 参照

## 1. 助成名称 : 『2023年度 研究開発・調査助成』

(50音順)

No	所属機関	職名 研究者	研究テーマ	助成額 (万円)
1	愛知学院大学 薬学部	教授 神野 伸一郎	NIR-II光を活用できる高機能性色素材料の開発	100
2	秋田大学 大学院理工学研究科	准教授 福本 倫久	溶融塩を媒体とした多孔質化処理による革新的水電解電極の創製	100
3	大阪大学 産業科学研究所	助教 近藤 靖幸	次世代蓄電池の充放電高速化に向けた電極/電解液界面におけるイオン移動反応速度解析	100
4	大阪大学 大学院薬学研究科	助教 佐古 真	不斉有機ホウ素触媒を用いる環境調和型三成分反応の開発	100
5	大阪大学 工学研究科応用化学専攻	助教 西久保 綾佑	In-situ膜形成観測を駆使した薄膜太陽電池材料の高品質プロセス開発	100
6	大阪大学 大学院工学研究科	准教授 大参 宏昌	水素を活用したLiプレドーパノ多孔質SiSn合金粒子の創成	100
7	大阪大学 大学院工学研究科	助教 岡 弘樹	有機半導体の抜本的性能向上を可能とする革新的な材料設計法の構築	100
8	大阪工業大学 工学部電気電子システム工学科	教授 藤井 彰彦	単結晶薄膜育成プリンティングによるペロブスカイト太陽電池の開発	100
9	大阪公立大学 工学研究科	教授 齊藤 丈靖	廃棄シリコンナノ粒子の最適設計に基づく次世代二次イオン電池用高容量・長寿命負極材の開発	100
10	神奈川大学 工学部電気電子情報工学科	准教授 根岸 信太郎	需要家側機器の確率的オンライン型制御手法の創出	100
11	金沢大学 新学術創成研究機構	助教 藤原 翔	火災噴霧熱分解法で調製した高担持Ni触媒の活性サイト最大化	100
12	関西大学 環境都市工学部	准教授 松岡 光昭	低環境負荷な重金属固定化能を有するジオポリマー硬化体の開発	100
13	九州大学 大学院 工学研究院	助教 松本 光	やわらかなゲルにくるまれた光触媒/金属触媒が協同する可視光駆動型有機合成の創成	100
14	九州大学 総合理工学研究院エネルギー科学部門	准教授 堤井 君元	電荷移動ドープ窒化ホウ素半導体を用いた表面伝導素子の開発	100
15	九州大学 工学研究院応用化学部門	准教授 松本 崇弘	GXを指向した竹からの水素製造	100
16	京都大学 大学院人間・環境学研究所	特定准教授 高見 剛	全固体フッ化物イオン電池を志向したフッ化物固体電解質の開発	100
17	京都大学 大学院工学研究科材料工学専攻	助教 西岡 季穂	酸素分子の反応を制御する白金系電極触媒の電析	100
18	京都大学 大学院工学研究科	准教授 奈良 禎太	炭酸塩岩石粉末と炭酸イオンの地下注入による環境保全と資源の新たな生成	100
19	京都大学 大学院工学研究科	教授 西村 文武	超省エネ型廃水処理法アナモックスにおける温室効果ガスN <sub>2</sub> Oの生成特性と抑制手法に関する研究	100
20	京都工芸繊維大学 電気電子工学系	助教 鐘ヶ江 一孝	ミスト化学気相成長β-酸化ガリウム層中の欠陥準位の定量	100
21	慶應義塾大学 理工学部 化学科	助教 豊島 遼	水素スピルオーバーによる触媒活性化プロセスの理解と制御	100
22	慶應義塾大学 理工学部	専任講師 磯 由樹	量子ドット蛍光体ナノコンポジット膜の集光型太陽光発電への応用と解析	100
23	神戸大学 大学院海事科学研究科	特命助手 公江 仁一	閉鎖性水域における自然現象と工学装置を利用した水環境改善技術の開発	100
24	神戸市立工業高等専門学校 応用化学科	准教授 小島 達弘	固相反応による多孔質材料への金属酸化物の担持による触媒開発	100
25	埼玉大学 理工学研究科物質科学部門	教授 荻原 仁志	環境調和型分子変換を指向する電極触媒プロセスの開拓	100
26	埼玉大学 大学院理工学研究科応用化学PG	助教 小玉 翔平	低レベル放射性廃棄物を利用した原子力電池の実現可能性試験	100
27	千葉大学 大学院工学研究院	助教 馬 蓓	量子井戸型太陽電池の超高歪による電力変換効率向上策の革新	100
28	東京農工大学 グローバルイノベーション研究院	特任助教 鈴木 龍汰	マイクロリアクターを用いた電場印加による新規水素製造法の提案	100
29	東北大学 大学院工学研究科 ロボティクス専攻	助教 山田 駿介	微細加工技術を用いたカーボンナノスキンの合成と蓄電素子への応用	100
30	長岡工業高等専門学校 教育研究技術支援センター	技術専門職員 神保 和夫	銅・亜鉛・錫・硫黄による炭素基板上的薄膜太陽電池作製プロセスの開発	100
31	名古屋市立大学 大学院理学研究科	教授 雨夜 徹	原油熱蒸留エネルギー低減のためのろ過型原油分離材料の設計と合成	100
32	広島大学 先進理工系科学研究科	助教 崔 正原	ステンレス鋼の水素脆化における接合技術の開発	100
33	北海道大学 大学院工学研究院環境工学部門	准教授 葛 隆生	寒冷地の再生可能エネルギー熱利用・供給システムに寄与するシミュレーションツールの開発	100
34	立命館大学 理工学部	教授 小林 大造	振動による反応増強メカニズムを備えたオンチップ光触媒リアクタ	100

2. 助成名称 : 『2023年度 国際会議・研究発表会等の参加、及びシンポジウム等の開催への助成 (I)』

(50音順)

No	所属機関	職名 研究者	会議名 (開催国・開催日程)	助成額 (万円)
1	秋田大学 理工学研究科	准教授 福本 倫久	The 11th Pacific Rim International Conference on Advanced Materials and Processing 韓国(済州島)2023.11/19~11/23	20
2	茨城大学 理工学研究科	博士前期課程 杉浦 敬太	2023 IEEE Transportation Electrification Conference and Expo, Asia-Pacific (ITEC Asia-Pacific 2023) タイ王国(チェンマイ県)2023.11/28~12/1	20
3	徳島大学 大学院社会産業理工学 研究部	教授 長谷崎 和洋	第15回エコマテリアル国際会議15th International Conference on Ecomaterials 2023 (ICEM15) 日本(長崎県壱岐市)2023.11/26~11/30	20
4	名古屋大学 大学院工学研究科	教授 梅原 徳次	ISPlasma2023 / IC-PLANTS2023 / APSPT-13 日本(名古屋市)2024.3/3~3/7	20
5	北海道大学 大学院 工学研究院	助教 HAM Geun-Yong	Sardinia Symposium 2023 イタリア(サルデーニャ島)2023.10/9~10/13	20

3. 助成名称 : 『2023年度 国際会議・研究発表会等の参加、及びシンポジウム等の開催への助成 (II)』

No	所属機関	職名 研究者	会議名 (開催国・開催日程)	助成額 (万円)
1	大阪大学 大学院 基礎工学研究科	博士前期課程 高田 龍司	18th International Congress on Catalysis フランス(リヨン)2024.7/14~7/19	20
2	大阪大学 産業科学研究所	助教 近藤 吉史	18th International Congress on Catalysis (ICC2024) フランス(リヨン)2024.7/14~7/19	20
3	大阪大学 接合科学研究所	教授 桐原 聡秀	3rd Global Conference and Exhibition on Smart Additive Manufacturing, Design & Evaluation (Smart MADE 2024) 日本(大阪)2024.4/10~4/12	20